

# 健康管理システムの 標準化対象事務のイメージ

地方自治体様、ベンダ様へのアンケート、ヒアリングの結果を受けての参考資料です。  
イメージであり 今後各ワーキングチームで検討していくものとなります。

事務局提出資料

# 標準化対象分野について

- 地域情報プラットフォーム標準仕様に示されている、成人検診、母子保健、予防接種をベースに標準化対象事務を整理する。
- しかしながら、健康管理システムでは様々な分野が取り扱われており、健康管理を広義でとらえた場合、成人検診、母子保健、予防接種以外にも、以下の様々な分野が挙げられる。今後、対象者数や、システム化率の調査結果を踏まえた上で、対象分野の選定を行う。

## <健康管理システムとして扱われる主な分野と整理>

主な分野	システム化状況等	整理の方向性
成人検診	地域情報プラットフォームに示されている分野であり、多くの自治体でシステム化されている。	標準化対象分野として検討
母子保健		
予防接種		
指定難病 医療費助成	都道府県、指定都市、中核市(※)、児童相談所設置市(※)が事務の実施主体であり、大半の市区町村においてはシステム化していない。	標準化対象分野とするかは、様々な観点を踏まえ今後検討  主な観点 ・厚労省から発出されている、「健康管理行政等におけるシステムの現状調査について」の回答結果からシステム化率等を加味して検討する。  ・ベンダヒアリングにおいて、システム化している分野や機能範囲を詳細にヒアリングした内容を加味して検討する。
小児慢性 医療費助成	加えて、システム導入自治体においては次期難病等DBの利用に必要な改修を予定している。 (※)小慢のみ	
療育 医療費助成	対象者が少ないことから、システム化率が低い。	
結核	保健所設置市のみが対象の事務であり、かつNESID※を利用している。NESID以外の事務処理システムを利用している自治体は少ない。	

※感染症発生動向調査(NESID)

# 成人検診の標準化対象事業と、検討のポイントについて

- 地域情報プラットフォーム標準仕様に記載がないが、システム機能として求められる事業が多数ある。これらの事業は、標準化範囲外の整理としつつも、範囲内の検診と組み合わせで実施している自治体も多数あることから、機能要件への仕様記載を工夫することで、事業の実施を妨げることにならないような整理が必要である。
- 市区町村における拡張運用として、健康増進法で指針が示されている事業において、対象年齢の拡張や指針以外の検査項目で、実施しているケースもある。データ要件を定める上でも、医学研究、大学研究等を目的とした自治体拡張検査項目の実施を妨げることがないような整理が必要である。
- 基本チェックリストは、現在は介護保険事業で実施されているため、標準化範囲外の整理とするのが望ましい。
- 特定健診・保健指導、後期高齢者の健康診断・保健指導については、厚生労働省において検討中。

## 成人検診分野の標準化範囲のイメージ図

凡例

標準化範囲内

パラメータ対応

標準化範囲外

### 地域情報プラットフォーム標準仕様範囲

#### 健康増進事業

健康教育

健康相談

訪問指導

歯周病検診

骨粗鬆症検診

肝炎ウイルス検診

健康診査

がん検診  
(胃・肺・大腸・乳・子宮)

統計・報告

#### 介護保険事業

基本チェックリスト

市区町村拡張運用

対象年齢の拡張

指針以外の検査項目

### 市区町村拡張事業(例)

■若年健康診査

●前立腺がん検診

●甲状腺がん検診

●エキノコックス検査

●原爆被爆者二世の健診

子宮体がん検診

肝臓がん検診

口腔がん検診

皮膚がん検診

喉頭・咽頭がん検診

凡例

■: 経年的な健診結果の管理を行う上で健康管理システムでの管理が必要となる。また、標準化範囲内の検診と同時に事務処理を行うケースもある。(対象者の抽出、受診券の同時出力等)

●: 地域特性からの実施や、実施団体の多い検診

# 母子保健の標準化対象事業と、検討のポイントについて

- 地域情報プラットフォームの対象範囲外であるが、母子保健法上で位置づけられている業務については、標準化範囲とすることが検討が必要である。
- 成人検診と同様に、地域情報プラットフォーム標準仕様に記載がないが、システム機能として求められる事業が多数あるため、全国での実施状況等も踏まえ、標準化範囲内として検討することが必要である。
- 市区町村における拡張運用としては成人検診と同様の拡張運用に加え、市区町村単独助成(健診回数上乘せ)を実施している自治体もあり、現行の事業の実施を妨げることがないような整理が必要である。

## 母子保健分野の標準化範囲のイメージ図

凡例

標準化範囲内

パラメータ対応

標準化範囲外

### 地域情報プラットフォーム標準仕様範囲

母子保健法

妊娠の届出

教育事業

母子健康手帳

相談事業

妊産婦に対する健康診査

訪問指導(新生児、未熟児訪問)

乳幼児健康診査

法定健診:1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査

養育医療

産後ケア事業

市区町村拡張運用

対象年齢の拡張

指針以外の検査項目

妊婦健診の単独助成(健診回数上乘せ)

市区町村拡張事業(例)

3~4か月児健診

新生児聴覚スクリーニング検査

新生児マススクリーニング検査

5~11か月の各健診

1歳、2歳児健診

2歳児歯科健診

4歳、5歳児健診

バースデイ歯科健診

...

# 予防接種の標準化対象事業と、検討のポイントについて

- 予防接種法に定められた対象疾病(定期接種)を対象事業とし整理しつつ、多くの自治体で助成を行っている、**おたふくかぜワクチンや、小児インフルエンザワクチンについては、標準化範囲とすべきか検討を行う。**
- 子育てノンストップサービスに深く関わる、**デジタル予診票の策定や、予防接種台帳システムとVRSとのより一層の連携**については、国の検討状況を踏まえた上で、どこまでを標準仕様として定めるか整理を行う。

## 予防接種分野の標準化範囲のイメージ図

凡例

標準化範囲内

パラメータ対応

標準化範囲外

### 地域情報プラットフォーム標準仕様範囲

#### 予防接種法

##### 定期接種

Hibワクチン

水痘ワクチン

小児用肺炎球菌ワクチン

日本脳炎ワクチン

B型肝炎ワクチン

乳幼児以外

ロタウイルスワクチン

HPVワクチン

4種混合ワクチン

高齢者インフルエンザワクチン

BCG

成人用肺炎球菌ワクチン

MRワクチン

風しん第5期

新型コロナワクチン

健康被害救済制度

#### 任意接種

助成あり

おたふくかぜワクチン

小児インフルエンザワクチン

助成なし

A型肝炎ワクチン

髄膜炎菌ワクチン

過去に定期接種として実施

3種混合ワクチン

不活化ポリオワクチン

予防接種ではないもの(例)

風しん抗体検査

...

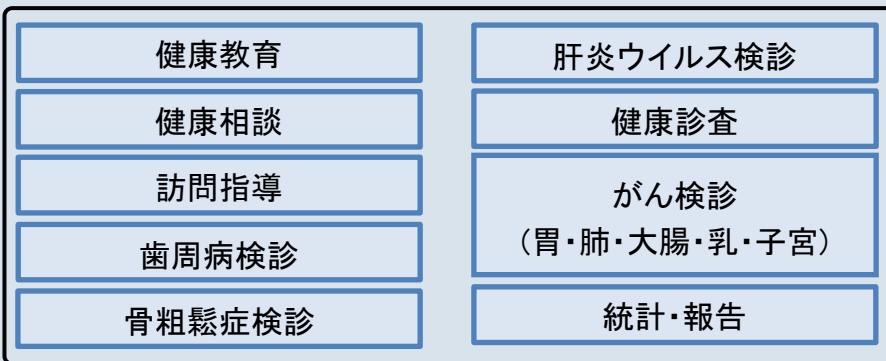
# 成人検診の標準化対象事業

## 【健康管理における標準化対象の事務】

標準準拠アプリ  
(標準仕様に準拠したアプリケーション)  
<ノン・カスタマイズ>

### 地域情報プラットフォーム標準仕様範囲

#### 健康増進法



- 前立腺がん検診
- 子宮体がん検診
- 卵巣がん検診
- 肝臓がん検診
- 甲状腺がん検診
- 口腔がん検診
- 皮膚がん検診
- 喉頭・咽頭がん検診
- エキゾックス検査
- 若年健康診査

<標準アプリケーション機能>

対象年齢の拡張

指針以外の検査項目

拡張事業

📱 独自施策

<パラメータ>

## 【健康管理における標準化対象外の事務】

#### 介護保険事業

基本チェックリスト

#### 高齢者医療確保法

特定健診

特定保健指導

#### 広域連合(努力義務)

後期高齢者の健康診断

後期高齢者の保健指導

厚生労働省において検討中

API連携

<疎結合>  
(アドオン)

# 母子保健の標準化対象事業

## 【健康管理における標準化対象の事務】

標準準拠アプリ  
(標準仕様に準拠したアプリケーション)  
<ノン・カスタマイズ>

母子保健法

### 地域情報プラットフォーム標準仕様範囲

妊娠の届出

教育事業

母子健康手帳

相談事業

妊産婦に対する健康診査

訪問指導(新生児、未熟児訪問)

乳幼児健康診査

法定健診: 1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査

養育医療

産後ケア事業

3~4か月児健診

新生児聴覚スクリーニング検査

新生児マススクリーニング検査

5~11か月の各健診

1歳、2歳児健診

2歳児歯科健診

4歳、5歳児健診

パースデイ歯科健診

<標準オプション機能>

対象年齢の拡張

指針以外の検査項目

拡張事業

妊婦健診の単独助成  
(健診回数上乘せ)

独自施策

<パラメータ>

## 【健康管理における標準化対象外の事務】

標準化対象外事務

API連携

<疎結合>  
(アドオン)

# 予防接種の標準化対象事業

## 【健康管理における標準化対象の事務】

標準準拠アプリ  
(標準仕様に準拠したアプリケーション)  
<ノン・カスタマイズ>

地域情報プラットフォーム標準仕様範囲

予防接種法

定期接種

Hibワクチン

水痘ワクチン

小児用肺炎球菌ワクチン

日本脳炎ワクチン

B型肝炎ワクチン

乳幼児以外

ロタウイルスワクチン

HPVワクチン

4種混合ワクチン

高齢者インフルエンザワクチン

BCG

成人用肺炎球菌ワクチン

MRワクチン

風しん第5期

新型コロナワクチン

過去に定期接種

3種混合ワクチン

不活化ポリオワクチン

助成あり

おたふくかぜワクチン

小児インフルエンザワクチン

助成なし

A型肝炎ワクチン

髄膜炎菌ワクチン

風しん抗体検査

任意接種

独自施策

<パラメータ>

<標準オプション機能>

## 【健康管理における標準化対象外の事務】

健康被害救済制度

<疎結合>  
(アドオン)



# 健康管理システムと密接に係るシステム

- これまで纏めた標準化対象事業を、ベンダがパッケージシステムで提供している事業と比較した場合、下表の朱書きの事業が標準化対象外の事業となると考えられる。
- パッケージシステムで提供している＝すなわち地方自治体において標準化対象事業と密接に関わる事業として運用されている事業とも考えられる。このような事業については、標準化対象外の事業ではあるものの、住民サービスや、運用の利便性、効率性を考えた場合、**密接に関わる事業としてガバメント・クラウドへの構築が求められる事業であると考えられる。**また、密接に関わる事業が朱書き以外にもないか引き続き各ワーキングチームで検討を行い、デジタル庁へ申し送りをする。

事業者	パッケージシステムで提供しているシステムの事業種類
A	成人検診、 <b>特定健診・特定保健指導</b> 、妊産婦管理、乳幼児健診、予防接種、教育・相談・訪問、 <b>結核管理、母子医療(養育、育成、小慢、特定不妊、一般不妊、人工授精)、難病</b>
B	成人検診、 <b>特定健診・特定保健指導</b> 、妊娠届出、妊婦健診、出生届出、乳幼児健診、予防接種、母子保健教室
C	成人検診、 <b>特定健診、特定保健指導</b> 、予防接種、妊産婦管理、乳幼児健診、教育・相談・訪問
D	成人検診、 <b>特定健診・特定保健指導</b> 、妊産婦管理、乳幼児健診、予防接種、予約受付事務
E	成人検診、 <b>特定健診、特定保健指導</b> 、予約管理、対応記録(訪問・相談・教育)、予防接種、出生情報、乳幼児健診、妊婦管理、妊婦健診、 <b>助成事業</b>
F	成人検診、 <b>特定健診・特定保健指導</b> 、妊産婦健診、乳幼児健診、予防接種、健康教育・相談、報告書作成、 <b>虐待管理、未熟児養育医療、小児慢性特定疾病、特定不妊治療、一般不妊治療、畜犬管理</b>

<資料4 15ページ より>